保育所の自己評価

記入日：令和８年　３月　16 日

施設名：みずべこどもの家保育園

【評価について】評価をするにあたっては、以下のような基準で評価を行っています

A：理想的な状況にある状態（120%の状態）

B：通常行われている状態（100%の状態）

C：一部改善・あるべき姿に到達していない状態（70%）

１－１　子どもの発達援助の基本

小分類	評価項目	結果
(1)全体計画を基本方針に基づき作成している	①全体計画の作成には職員が参加している	A
	②地域の実態や保護者の意向などを考慮して作成している	B
	③全体的な計画を保護者に説明している	B
(2)指導計画の評価・検討を定期的に行い、その結果に基づき指導計画を見直している	①各年齢の子どもの発達状況に配慮した指導計画となっている	A
	②日常の保育を通して子どもの思いや気持ちを汲み取りながら指導計画に反映させている	A
(3)各年齢の子どもの発達状況、保育目標、生活状況についての記録がある	①一人ひとりの子どもの発達状況、保育目標、生活状況についての記録がある	B
	②それぞれの子どもに関する情報を職員同士で共有している	A
	③一人ひとりの子どもの発達状況、保育目標、保育の実践について話し合うためのケース検討を必要に応じて実施している	B

１－２　健康管理

(1)子どもの健康管理は、子ども一人ひとりの健康状態に応じて実施している	①健康に関するマニュアルがあり、職員に周知し、実施している	A
(2)③乳幼児突然死症候群（ＳＩＤＳ）・感染症等を予防するマニュアルがあり、 それを活用している	①マニュアルがあり、それを活用している	A
	①マニュアルに基づき、保護者への感染症予防策及び対応について周知している	B

１－３　食事

(1)食事を通して子どもたちが楽しく食べる意欲が育つように工夫している	①乳幼児にふさわしい食生活が展開されるよう、食事について見直しや改善を している	A
	②落ち着いた環境で楽しく食事ができるように工夫している	A
	③食事の状況に基づき、調理内容を改善している	A
(2) アレルギー疾患、慢性疾患等をもつ子どもに対し、主治医からの指示を得 て、適切な対応を行っている	①アレルギー疾患、慢性疾患等をもつ子どもに対し、主治医からの指示を得 て、適切な対応を行っている	A
	②間違いがないように個別のプレートやト レーなどで分け、調理師同士や保育士と確認している	A
(3)文化・習慣の違いなどの個別に配慮した食事を提供している	①保護者の申し出により、個別に対応している	A

１－４　保育環境

(1)子どもが心地よく過ごすことのできる環境を整備している	①園内の清掃・清潔を保ち、子どもが心地よく過ごせるように配慮している	A
	②屋内外の衛生面・安全面に配慮している	A
(2)生活の場に相応しい環境とする取り組みを行っている	①生活の場面にあった職員の声、音楽など音に配慮している	B
	②園内に、子どもたちが季節感を味わえるような工夫をしている	A

１－５　保育内容

(1)子ども一人ひとりへの理解を深め、受容しようと努めている	①子どもにわかりやすい温かな言葉遣いで、穏やかに話している	A
	②子どもの要求や訴えに対して、子どもの気持ちを受けとめ、状況に応じて対応している	A
(2)子どもが基本的な生活習慣を身につけ､積極的に活動できるような環境が整備されている	①基本的な生活習慣や生理現象に関しては、一人ひとりの子どもの状況に応じて対応している	B
(3)子供が主体的に活動できる環境が整備されている	①子どもが様々な活動を自由に体験できるような環境が整備されている	B
(4)身近な自然や社会と関われるような取り組みがされている	①身近な生活体験のなかで、命の大切さや季節感など、豊かな感性を育むよう 配慮している	A
	②生活や遊びを通して、数・量の感覚が身につくよう工夫している	B
	③散歩や行事などで、子供たちが地域の人に接する機会を作っている	B
(5)様々な表現活動が体験できるように配慮されている	①身体等を使った様々な表現遊びが取り入れられている	A
	②様々な素材を使って、描いたり作ったり自由に表現できるように配慮されて いる	A
	③絵本の読み聞かせや紙芝居などを積極的に取り入れている	A
(6)遊びや生活を通して、人間関係が育つよう配慮している	①子どもたちの自立性を尊重し、子ども同士で解決できるよう援助している	B
	②順番を守るなど、社会的ルールを身につけていくように配慮している	A
	③異年齢の子どもたちや様々な年齢層の人たちと交流している	A
(7)乳児保育のための環境を整備し､保育の内容や方法に配慮している	①離乳食については、家庭と連携をとりながら、一人ひとりの子どもの状況に配慮して行っている	A
	②一人ひとりの生活リズムに合わせて睡眠をとることができるように、静かな環境が確保されている	A
	③顔を見合わせてあやしたり、乳児とのやりとりやふれあい遊びを行っている	A
	④保護者との継続的な関りが保てるよう配慮している	A
(8)長時間にわたる保育のための環境が整備され､保育の内容や方法に配慮が見られる	①長時間にわたる保育のための環境が整備され、保育の内容や方法に配慮している	B
(9)障がい児保育のための環境が整備され､保育の内容や方法に配慮している	①保護者の理解のもと、関係機関、医療機関等との連携を図り、必要に応じて助言・援助を受けている	B
	②障がい児が園生活を送るために、必要に応じて園の子どもたちや保護者に障がいを理解できるような言葉がけをし、配慮している	B
(10)積極的な健康増進の工夫を遊びの中に取り入れている	①いろいろな運動遊びを工夫しながら取り入れている	A

１－６　入所児童の人権尊重

(1)子どもの人権に十分配慮するとともに、文化の違いを認め、互いに尊重する心を育てるよう配慮している	①子どもが自分の思いや意見を言うことができるように配慮して保育を行っている	A
	②一人ひとりの子どもの心身の状態、生活習慣や文化、家庭の事情、考え方などの違いを知り、尊重する心を育てている	B
(2)性差への先入観による固定的な観念や役割分担意識を植え付けないよう配慮している	①子どもの態度、服装、遊びなどで性差への先入観による固定的な対応をしな いように配慮している	A
(3)外国籍や帰国子女の子どもに対して､適切な配慮がなされている	①日本語によるコミュニケーションが困難な保護者に対して、園の意向や連絡 手順が正しく伝わるよう、努力や工夫をしている	B
(4)保育中の子どもの人格尊重を意識している	①保育者は、子どもの人格尊重を意識して保育を行っている	A

【総括】

○保育活動や行事について、目的や意図を確認し、職員間で話し合いながら進めることができた。また、年齢や発達に応じた保育がクラスで計画的に展開できた。

○家庭の事情や子どもの特性を考慮した保育や保護者との関わり方ができるよう職員間で連携する意識が共有できた。今後は、１人１人の子どもに応じた対応について様々な観点で分析し、改善するための連携を強化していきたい。

○健康面では視診・触診を徹底し、体調不良等への対応も迅速にできた。今後も日々の安全面や健康面での配慮をより細やかに行っていきたい。